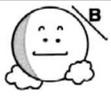


江戸川区 中小企業の景況

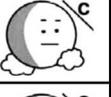
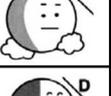
調査対象 製造業 196社 小売業 87社
 サービス業 70社 建設業 61社
 調査方法 面接聴取法
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
 分析作成 (株) サーベイリサーチセンター

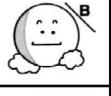
2019年10～12月期(2019年12月上旬調査)

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
							
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

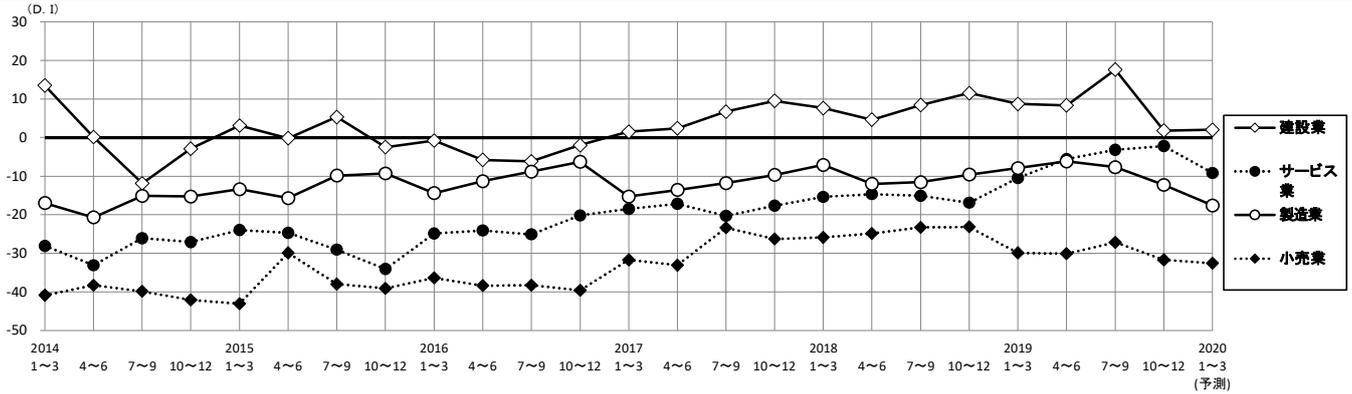
製造業	前期		<p>業況は幾分悪化幅が拡大しました。売上額は若干持ち直しましたが、受注残と収益はともに前期並の減少幅が続きました。価格面では、販売価格はわずかに上昇に転じました。原材料価格は前期並の上昇が続き、原材料在庫数量は適正範囲に保たれました。</p> <p>来期の業況はさらに悪化が強まると見込んでおり、売上額、受注残、収益は減少幅が多少拡大すると予想しています。</p>
	今期		
	来期		

小売業	前期		<p>業況は悪化幅が幾分拡大しました。売上額は減少がかなり強まり、収益は前期並の減少幅で推移しました。価格面では、販売価格は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格も上昇幅が幾分拡大しました。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込んでいます。売上額と収益はともに大幅に持ち直すと予想しています。</p>
	今期		
	来期		

サービス業	前期		<p>業況は前期同様の悪化水準で推移しました。売上額は前期並の減少幅が続きましたが、収益は大幅に改善されました。価格面では、料金価格は堅調に推移しましたが、材料価格はかなり上昇したため厳しい状況が強まりました。</p> <p>来期の業況は明るさが見えはじめていましたが悪化幅が再び拡大すると見えています。売上額と収益はともに減少傾向が大きく強まると予想しています。</p>
	今期		
	来期		

建設業	前期		<p>業況は良好感が大幅に後退しました。売上額は増加傾向が大きく弱まり、受注残と施工高も多少伸び悩みました。収益は前期同様の水準で推移しました。価格面では、請負価格は上昇から下降に転じ、材料価格は上昇傾向が若干弱まりました。</p> <p>来期の業況は今期同様の水準で推移しますが、売上額、受注残、施工高はともに大きく減少し水面下に落ち込むと見えています。収益は今期並の水準が続くと予想しています。</p>
	今期		
	来期		

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



【過去5年間の業況D.I.の推移】 ※(D.I)=「増加回答値」-「減少回答値」

	2014 1~3	2014 4~6	2014 7~9	2014 10~12	2015 1~3	2015 4~6	2015 7~9	2015 10~12	2016 1~3	2016 4~6	2016 7~9	2016 10~12	2017 1~3	2017 4~6	2017 7~9	2017 10~12	2018 1~3	2018 4~6	2018 7~9	2018 10~12	2019 1~3	2019 4~6	2019 7~9	2019 10~12	2020 1~3 (予測)
製造業	-17.0	-20.7	-15.1	-15.3	-13.4	-15.7	-9.9	-9.3	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-17.6
小売業	-40.9	-38.3	-39.9	-42.1	-43.1	-29.9	-38.0	-39.1	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-32.6
サービス業	-28.1	-33.1	-26.1	-27.1	-24.0	-24.7	-29.1	-34.1	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-9.2
建設業	13.5	0.1	-11.9	-2.9	3.1	-0.2	5.3	-2.5	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	2.0

経営者から寄せられた声 (2019年10~12月)

【景況全般について】

- 今年は厳しくなるように感じる。周りの同業者も大変そう。(製造業)
- Windows7サポート終了に伴う入れ替え需要で良い。(卸売業、小売業)
- 景気動向については、今の段階では横ばいである。(教育、学習支援業)

【経営上の課題について】

- キャッシュレス決済が多い分、現金が市場に回らない。(卸売業、小売業)
- 仕事の依頼はあるが、人手不足で対応が遅れている。単価の上昇もない。(建設業)
- 新規事業に取り組んでいるが、時間がかかる。(建設業)
- 設備等の増設が必要となってくるため、よりシビアな資金繰りを行わなければいけない。(建設業)
- 小売業などが増税対策で割引やポイント還元を行っているため優先順位が下がっている。(医療、福祉)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- 建設業界もまだまだ仕事はあると言っているが、人手不足により完成できなかった残があるだけだと思う。(建設業)
- 受注に関しては、1月も順調な受注が継続しており、懸念はない。社員増員により、売上げも1割ほど上昇し、効果が出ている。(建設業)
- 売上額と収益はともに横ばいであるが、改善の兆しがある。(学術研究、専門・技術サービス業)

【経営改善等に向けての取組み】

- 価格競争の土俵に上らない、他社にはない特色ある製品の比率を高める努力を続けている。(製造業)
- 課題であった人手不足は一応充足されたが、新卒者の雇用に向け継続して行っている。(建設業)
- 多くの生徒確保が出来るよう時代に合わせた戦略を考えていく。(教育、学習支援業)
- 業務を特化し、業務の特色や柱を明確にして取り組んでいる。(学術研究、専門・技術サービス業)

江戸川区の企業倒産動向 (2019年10~12月)

江戸川区の企業倒産動向

2019年10~12月期の江戸川区の倒産件数は、前期比20.0%減の12件(前期15件)、負債総額は同73.2%減の5億95百万円(同22億20百万円)でした。

業種別にみると、件数では製造業が4件で最も多くなりました。負債総額は建設業が4億55百万円で最も多く、次いで製造業が80百万円でした。

	前年同期 2018年10~12月		前期 2019年7~9月		今期 2019年10~12月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	70	1	20	4	80
卸売業	6	437	5	1,635	1	20
小売業	2	40	1	40	3	30
サービス業	3	60	1	10	1	10
建設業	5	720	2	335	3	455
不動産業	0	0	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	1	30	2	100	0	0
宿泊業、飲食サービス業	0	0	2	30	0	0
その他	1	10	1	50	0	0
合計	19	1,367	15	2,220	12	595

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525(直通) FAX:03-5662-0812